

園の保育目標

- ・心身ともに健康で友達と元気に遊べる子ども
- ・自ら考え、学び、行動できる子ども
- ・のびのびと自己表現できる子ども
- ・思いやりの気持ちを持てる子ども
- ・自分の思いを伝え仲間と協力できる子ども

クラスの保育目標

- ・安定した生活リズムで元気に過ごす。
- ・保育者や友達と一緒に体を動かす遊びを楽しむ。

室内遊び&生活

子どもが主体的に活動する場を提供することで「自ら育つ力」「感じる心」「チャレンジする力」等が引き出されます。未来の子ども自身が、目的を達成する為に何が 필요한のかを考えられるように、今の子どもたちのやりたいことを想定して土台となる環境を整えている所です。そんな環境を少しご紹介します！

- ① コーナー遊び→室内を様々な遊びのコーナーに分けて保育し、一人ひとりが遊びたい遊びを存分に楽しめるよう設置しています。「何して遊ぼう？」机上遊び、運動遊び、手先の遊び等、子ども達にとって遊びが学びとなるよう、発達に合わせた玩具を提供しています。
- ② 生活面→散歩前には子ども達が自ら考えて準備ができるような導線を作っています。「散歩に行きたい！その為には？」まだまだ目の前の玩具で遊びたい気持ちが優先になる子もいますが、自分で考え張り切って準備する子が増えています。
- ③ 玩具→すぐに手に取れる棚に設置しています。「どれで遊ぼう？」自分で遊びたい玩具を選んで、楽しんでいます。
- ④ 落ち着ける場所→フカフカマットを随時置いて、集団ではなく自分の時間、安心できる場所、落ち着ける所として過ごせるようにしています。「休憩する？」ゴロゴロ寝転がる子、マットの上で好きな遊びを一人黙々と楽しむ子等、様々です。
- ⑤ 声掛け→子ども達の意思や意見を聞くようにしています。応答的な関わりができるよう子どもの声に耳を傾け、選択肢を持てるように関わっています。「こんな時はどうする？」自分で考え、言葉にして伝えてくれる姿、探求しようとする心に成長を感じています。
- ⑥ 自然→自然の美しさ、不思議さ等に直接触れる体験を大事にしています。「これは何？」と心が躍らされるよう、自由な空間と時間を設け、子ども達の心が満足できるように関わっています。毎日のお散歩は発見がいっぱいです。
- ⑦ 友達との関わり→子ども同士の関わりが増えています。その関わりに、先回りして教え過ぎないようにし、失敗の回避をするのではなく、子ども達が未熟さゆえに失敗する多くの経験を容認してあげ、見守ってあげることが大事だと考えています。「自分も相手もどんな気持ち？」自分で考えられるような見守り、提案や投げかけを一人ひとりの様子に合わせてしています。

これからも子ども達が未来に向かう力を育めるよう、丁寧に関わっていきたいと思います！！



散歩

進級に向けて、お散歩ロープに掴まって歩く経験を重ねています。初めて取り入れた時には、戸外の景色に目を輝かせながら想像以上に、上手に歩く子ども達の姿に驚かされました。子ども達の様子に合わせて取り入れ、歩く楽しさを感じながら、自分の足で目的地まで歩けたことが自信となるよう関わっていきたいと思います。是非、ご家庭でも無理のない時には手を繋いで歩く経験をして下さい！

食事

食べながら「美味しいね～」とニコニコする子ども達。最近 は様々な食材や味にも興味を示し、「これは何？」と質問し、「酸っぱい」「甘い」「温かい」等と感じたことを言葉にする姿も見られています。楽しい雰囲気の中、様々な味、料理、食材を知っていかれるように関わりたいと思います。

感染症情報

発熱や咳、鼻水が目立っています。疲れも出やすい時期です。体調の変化に留意しましょう。

